

| | |
|------------------|---|
| Title | 第 10 回ピア・スーパービジョン(聖学院大学人間福祉スーパービジョンセンター) |
| Author(s) | 聖学院大学総合研究所 |
| Citation | 聖学院大学総合研究所 Newsletter, Vol.22-No.2, 2013.1 : 40-43 |
| URL | http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/refs/modules/xoonips/detail.php?item_id=4333 |
| Rights | |



聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

聖学院大学人間福祉スーパービジョンセンター
第10回ピア・スーパービジョン

ピア・スーパービジョンとは保健・福祉現場などで対人援助の仕事をしている人たちが、同じ悩みや課題を持つ者として語り合い、日々の業務を見直すための研修交流会で、本学人間福祉学科卒業生を中心とした福祉のネットワーク SWnet (Seigakuin Welfare Net) との共催である。前半は柏木昭先生（聖学院大学総合研究所名誉教授 聖学院大学総合研究所スーパービジョンセンター顧問、社団法人日本精神福祉士協会名誉会長）の講演を聞き、後半は4つのグループに分かれてピア・スーパービジョンを行った。

日 時 2012年10月13日(土)13:30～16:30

場 所 聖学院大学4号館4階第一会議室

【プログラム】

開会の挨拶

牛津信忠（聖学院大学人間福祉学部長）

大島知子（聖学院大学人間福祉学科2002年度卒業）

第一部

講演 「ソーシャルワーカーのかかわり」

柏木 昭（聖学院大学総合研究所名誉教授 聖学院大学総合研究所スーパービジョンセンター顧問、社団法人日本精神福祉士協会名誉会長）

第二部

ピア・スーパービジョンとは？

相川章子（聖学院大学人間福祉学科准教授）

ピア・スーパービジョン

4つの無作為なグループに分かれての自由討議

全体共有

各グループの発表

コメントとまとめ

助川征雄（聖学院大学人間福祉学科長）

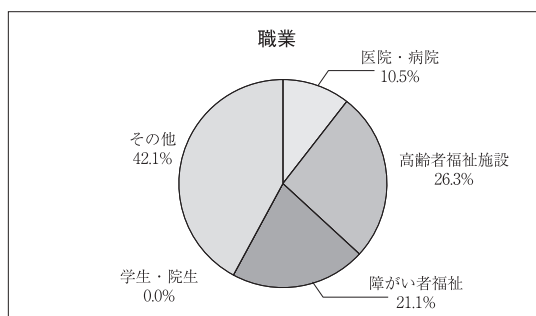
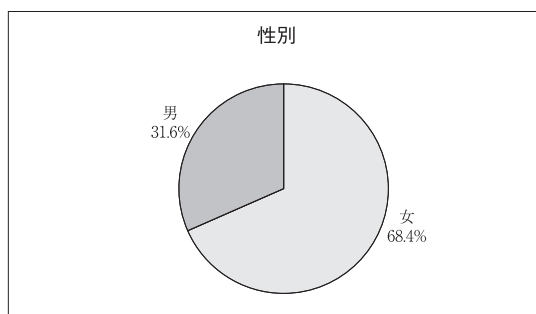
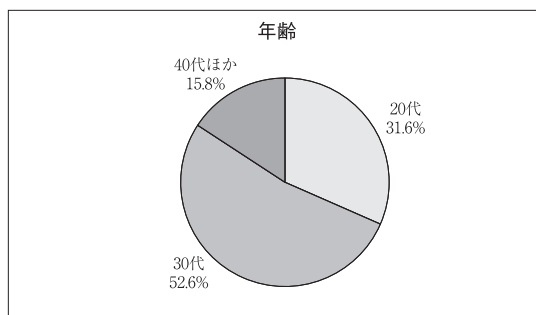
司 会 山田裕太（聖学院大学人間福祉学科
2001年度卒業）

講演司会 助川征雄（聖学院大学人間福祉学科長）

【結果の概要】

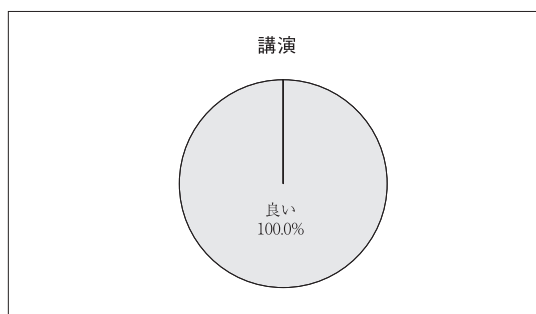
* 参加者33名のうち19名から回答があった。

1. あなたのプロフィールについて



* 「その他」の内訳は
福祉関連（事業評価）、教員、無回答など

2. 講演「ソーシャルワーカーのかかわり」



・トポスという言葉が今回初めて聞きました。在学時の北欧研修で訪れたスヴェンボーには障害者、学校帰りの子供たちが集まる喫茶店があり、そういったところがトポスなのかなとイメージ



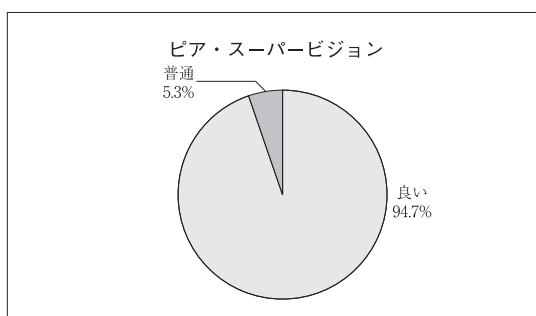


することができました。私自身も自分のトポスを見つけないです。

- ・先入観を持たず相手の話を聞く等、あらためて考えました。
- ・ソーシャルワーカーとしてあたりまえと思うことが、日常の仕事の中でなかなかできていなかったりします。良い振り返りの機会となりました。
- ・ソーシャルワーカーの役わりを確認できたので、また新たな気持ちで仕事に取り組みたいと思います。
- ・講演の中から、私がこれからソーシャルワーカーとしてプラスになる部分があって、ためになりました。
- ・みんな同じ、似たような悩みと不安があるんだなと思いました。
- ・日頃のかかわりを振り返り、ハッとすることが多々あり、見直すことができました。とても貴重な話を聞くことができました。
- ・初めて講演を聞かせていただきました。自分の職場でのことに照らし合わせて聞くことができ大変良かったです。また聞きたいと思いました。
- ・新しい視点が得られました。ありがとうございました。
- ・初心に帰って自分を振り返ることができました。
- ・自分自身のかかわりについてあらためて考える良い機会となりました。
- ・リアルな職場のお話が聞けました。色眼鏡の話、トポスの話、他の学生にも教えてあげたいと思います。
- ・ソーシャルワーカーの原点に戻れました。

- ・新たな関わりとしてのヒントを新たな言葉として教えてもらえた。
- ・あらためて柏木先生の授業を思い出した。
- ・日々仕事をしていると忘れがちになる大切なことを学んで、振り返ることができました。特に利用者と関わる上で大切なことが印象的でした。
- ・柏木先生のご教授を受け、明日からまた前に進もうと思えました。感謝しております。
- ・ソーシャルワーカーは、やはり聞き上手になるということが大事だとよくわかりました。

3. ピア・スーパービジョン



- ・自分の悩んでいた専門職の立場と、1年目SWという立場でのクライアントとの接し方について経験者の方々からアドバイスをいただき、1年目らしく頑張っていこうと思います。
- ・バランスの大切さや、自己決定を見直そうと思います。
- ・いろいろな職場で働く方々の話を聞くことができて良かったです。分野は違って同じようなことで悩んでいることも分かりました。以前のことを振り返って思い出したりすることもできて良かったです。
- ・分野が違う方々とお話できて良かったです。
- ・みんな同じ、似たような悩みと不安があるんだなと思いました。
- ・様々な立場からの話を聞くことができて良かったです。
- ・他職種の方と意見が交換できたのでとても良い時間でした。
- ・立場の異なる人と短時間で話し合うことは消化不良感がありますが、人によっては大きなヒントを得られたかもしれません。

- ・みなさんの経緯や業務内容を知ることにより、違う世界に触れることができました。
- ・様々な職場の方のお話がリアルですごくためになりました。悩みもたくさんあるようで、スーパービジョンって大事だなと思いました。
- ・いろいろなことを聞けて良かったです。
- ・もっと時間が欲しかった。ピア・スーパービジョンの場として、毎月など定期的に場所を貸すのがいいのではないかな。
- ・職種の違う皆さんとの話し合いはとても興味深く聴くことができました。
- ・辛いことは皆同じなんだと分かって、肩の力も抜けて、ほっとしました。
- ・皆さんの話を伺いながら、多くのヒントを共感を共有しながら得ることができました。ただ一点、短い時間の中で新しい顔合わせのメンバー同士がディスカッションするため、できればテーマ（キーワード）の提示など、工夫をする必要があるかな？と思いました。
- ・それぞれ福祉の道で生きていくには色々な方法があるということが良くわかりました。

4. 自由意見

- ・久しぶりの大学で懐かしい先生、友達、SWの先輩に会えて、たくさん話ができました。次の機会にも参加したい。
- ・ありがとうございました。
- ・また機会があったら参加したいと思います!!
- ・あっという間の3時間でした。
- ・また参加したいです。本当にありがとうございました。
- ・メールで申し込みをしたが受付に名前がなかった。
- ・次回も参加したいと思います。
- ・素晴らしい学びの場を提供いただき感謝しています。ありがとうございました。
- ・実際に働いている方々との意見交換ができるのはすごく貴重な機会だと思いました。